

42 破天荒

令和 二年度版
創刊
第三十三号

いつまで悩まされる？ 受験生として 今なすべきことは

四十二回生の皆さん、保護者の皆さん、本格的なコロナウイルス禍に見舞われて、早や九週間目の終わりを迎えました。この学年通信が、皆さんの目に触れる頃には、緊急事態宣言を受けた行動自粛要請の結果が、ゴールデンウィーク明けからの登校が可能になっているのか、残念ながら更なる延長になっているのか、あるいは、熟慮の結果、ゴールデンウィーク中にその連絡を先延ばしにしているのか。

この未曾有の災難の中、判断を求められるそれぞれの立場の方々の心労は底知れないものがあります。どうか勇気ある決断をと、心から思うのですが、思うに、それを妨げているのが、国民総評論家になっていることではないでしょうか。逆に言えば、私達はまだまだ「共に闘おう」という気概で生活していない、「こんな状況をどうしてくれるんだ」と、自分の主体性がまだ登場していないのではないのでしょうか。

少し論点がずれるかもしれませんが、ご容赦を。私は、別に特定の政党を支持しているわけではないですが、この九週間で感じたことは、こんな中でも、「自分達はこうしているんだ」とか、「そんなことをしてどうなるんだ」とか、前向きに進んでいく議論ではなく、特定の人の批判、自分の考える百パーセントからいかに離れているかの批判、と言うよりも自分の百パーセントすら見えない批判のニュースが、嫌でも目についてしまいます。

見えない「ウイルス」に対する恐怖の中、私達は何を心に置くべきなのでしょう。ある日の学校ホームページを通じた連絡の中で、「意味なく大声で叫びたい」という言葉を書きました。そんな心境になるタイミングが、今一人で闘う時間が長くなっている皆さんの中にも、幾度となくあったはず。自分の中にある見えない不安と闘うときに、溜まった何かを意味もなく叫んで吐き出した気になると、不思議と次のように思えてきます。「いまを超えよう」と。そうすると、「何で駄目なんだ、何でこうなんだ」ではなく、「これどうすればできる?」「何を取除けば実現できる?」「やってこんな課題が見つかった。どう解決しよう?」、と。

今は、百パーセントのマニュアルがあつて、それに従って動ける状況ではありません。だからこそ、自分の中にある今の百パーセントを目指す行動に活路があります。

四十二回生の皆さん、保護者の皆さん、こんな災いがなければ、私達は、生徒達を目の前にした恵まれた環境に、甘えを持って令和二年度を送っていたかもしれないかもしれません。この困難な時でさえ、対応している私学、塾、予備校、受験産業に置いて行かれていくと思いません。

しかし私達には、二年間皆さんと多くの時間を共有して得た、皆さんへの想いを胸に、この有事を乗り越えるべく方法を模索します。

「信じてくれ」とは言いません。皆さんを、「信じて」でできることを広げていきます。「信じて良かった」と思ってもらえるその日を信じて。

想いを抽象的に述べるだけでは、何の信用にも繋がりませんが、もし、ゴールデンウィーク後の再会が果たされるならば、この九週間の皆さんへの想いを、再会の喜びとともに、行動にしていきたいと思えます。

学校再開の道は、この原稿を考えている段階では、個人的には厳しいと感じずにはいらませんが、それが裏切られて欲しい想いと、一番大切な生徒達の安心・安全をどう確保し、保護者の皆さんも含めた信頼に繋げられるかを、「学校再開」という命題の下に、学年の問題だけでなく、学校としても、社会としても取り組むことを忘れず、今できる百パーセントを行い、その百パーセントを広げた、新たな百パーセントを追い続けます。

歯がゆさを感じる日々を、まだまだ送らせないといけないかもしれません。

どうか、皆さんの主体性を持った行動、この情報環境の中での仲間との協働性を持った行動をしっかりと身につけてそれらの行動を、記録にも記憶にも残しておいてください。自分の言葉で、この困難下での自分の行動を、具体的に相手に伝えることができるようになる機会ととらえてください。

私達は、高大入試改革・共通テスト一期生です。ならば、この困難をチャンスに変えましょう。学力の保障に伴う部分は、私達もつと工夫し、努力をして発信します。先述の教育産業のオンライン情報も含めて、対象である「自分」が、当たり前前に授業があるときならばどう取り組んだかを仮想して、受動的な取り組みではなく、数多くの能動的・積極的な取り組みを自分の言葉で表現できるように、意識した行動を心掛けましょう。

頑張っている皆さんには、不適切な表現かもしれませんが、

頑張ろう 相高生 頑張ろう 四十二回生

負けるな 相高生 負けるな 四十二回生

乗り越えよう いまを

42回生のいま

応援メッセージ 42回生学年団 vol.1

マナビジョンを通じた検温連絡数 (4月24日現在)

		1組(42)	2組(38)	3組(38)	4組(41)	5組(38)	計(197人のうち)
4月15日	最終	41	35	36	32	35	179
4月16日	AM9:00	39	34	33	30	35	171
	PM12:00	41	37	37	32	36	183
4月17日	AM9:00	36	35	31	32	31	165
	PM12:00	41	38	34	39	36	188
4月20日	AM9:00	38	33	36	32	31	170
	PM12:00	41	36	38	37	36	188
4月21日	AM9:00	39	31	37	32	32	171
	PM12:00	39	37	37	37	38	188
4月22日	AM9:00	42	32	32	38	32	176
	PM12:00	42	35	35	40	35	187
4月23日	AM9:00	40	32	32	34	31	169
	PM12:00	41	35	36	39	37	188
4月24日	AM9:00	40	33	36	34	35	178
	PM12:00	41	34	36	39	37	187

時間は、若干のずれがあります

先憂後楽 山村 亨先生

今という瞬間を楽しむプラス思考が大切！ 山本一芳先生

Start by doing what's necessary ; then do what's possible;
and suddenly you are doing the impossible. 平地悦子先生

山川異域 風月同天 山本真輔先生

If you are the best creator who controls you , you will love yourself ,
and be respectedd by others. 前田嘉暢先生

コロナウィルス禍とともに 42回生学年団の軌跡

① 本校 HP 上からの毎日の発信

3 月 5 日を最初に、登校可能日を除いた平日に発信し続けています。もちろん、事務連絡を出ない随想のような配信でもありますが、「毎日 HP を見るように」と言っているのに、何も連絡がない日が続けば、見る気が無くなりますよね。合理的な世の中ではありますが、だからこそ、下らないことがその中にあっても良いのではないのでしょうか。

保護者の皆さんへ。生徒がなかなか言葉を発しない年頃だけに、相生高校 HP『新型コロナウイルス感染予防のための臨時休業中の連絡』の、42 回生①連絡 をご覧ください。こちらは、どなたでも見ることができます。②宝箱 は、生徒への配信プリントに関して、著作権等の関係でパスワードをかけています。パスワードは生徒には伝えていません。

なお、この配信を常に支えて下さっている学年外の担当の先生方の尽力があることを付け加えさせていただきます。

さらに、進路指導部からもニュースが発信されるようになりました。ぜひ、定期的にご覧下さい。毎朝 9 時を目標に、いつも配信準備をしておこなっています。

② ベネッセマナビジョンを通じた生徒発信

高校 1 年時に、高大入試改革によるポートフォリオ対応に、ベネッセマナビジョンを利用した活用を、42 回生は生徒全員に実用化させてくれていたお陰で、本校情報委員会の先生方の尽力の下、4 月 15 日に検温記録報告を開始することができました。私達は、マナビジョンを通じて、現在 197 名全員の生徒と繋がりを持つことができます。教科によって、先行して授業動画の配信や、急ぎの連絡事項、HP 上での連絡に従って授業を行った前提での小テストのゲリラ的な実施、緊急時に不謹慎と呼ばれるかもしれませんが、日々の 3 点固定の一つである起床時間に貢献したいと、平日応援メッセージ等に使用しています。

ただ、この発信は、保護者の下には届けることができないので、生徒との会話の一つに利用してもらえたらと思います。

③ 生徒との連絡

前述した検温報告チェックに利用している、ポートフォリオのタイムライン(報告ファイルの一つ)に書き込まれている日々の報告内容を、各担任の先生方はこまめにチェックし、気にかかった生徒や、学習活動等をコツコツと積み重ねている生徒、報告が遅れ気味や途切れ気味の生徒などにこまめな声掛けをしています。利用できそうな多くのソフトが与えられようとする折、それを使いこなすハードに当たる皆さんの心があってこそ、それらのソフトが効果的に作用します。スイッチが切れそう、スイッチを入れてやりたい生徒も含めて、これからも皆さんに関わっていきます。

④ 配布物の郵送

とは言え、多くの生徒は①② ともに、大半の生徒はスマホでの対応のようなので、本来配布する予定であったプリント等を、4 月 23 日とゴールデンウィーク用に 2 回郵送しました。この先も郵送の必要が生まれた場合には、返信用の準備も検討しているところです。

⑤ スタディアサプリを利用可能に

今回の臨時休業延長に基づき、学習支援策としてスタディアサプリの利用を可能にしました。本校においては、管理職を通じて兵庫県教育委員会に利用申請を行い、認められました。費用については、兵庫県が今年度に限り負担してくれるそうです。現在 42 回生としては、2 年間の授業風景・内容に近い配信法を探っています。各々の良さを上手く利用して、難局を乗り越えたいと思います。

応援メッセージ 42回生学年団vol. 2

Festina Lente ～悠々としてかつ急げ～
焦らず、今やるべきことを確実にやる
垣見信三先生

質実剛健 兼田淳平先生

信じる心 荒内秀明

私達は皆さんの努力・軌跡を信じます。

皆さんも私達を信じてください。

心のキャッチボールを続けましょう。

五月以降の予定	五月	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十

五月以降の予定
変更の可能性があります
マナビジョンで確認をお願いします